

会社説明会

株式会社ヒップ

2009年7月11日

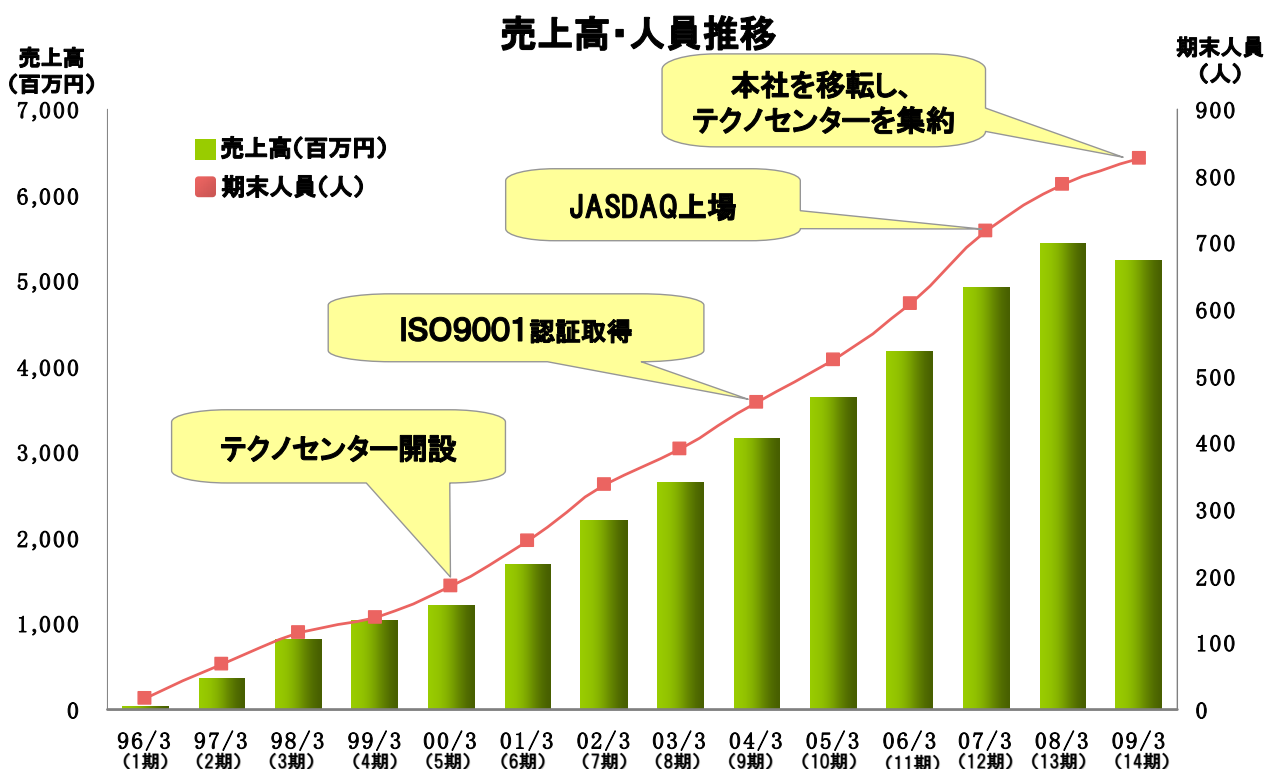
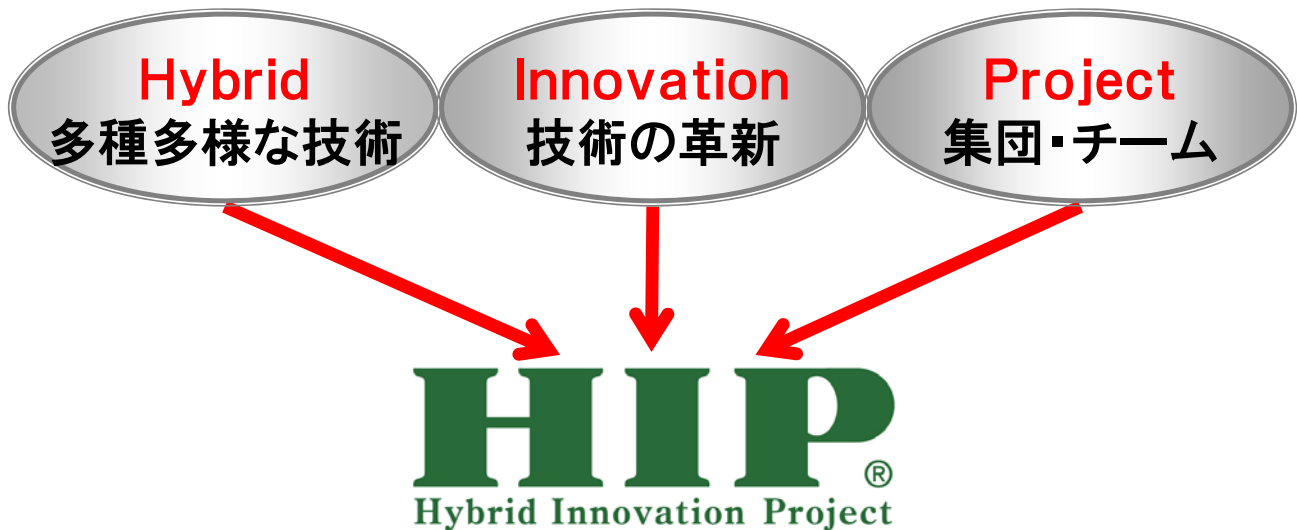
JASDAQ
Listed Company 2136

- 設立 : 平成7年9月13日
- 代表者 : 代表取締役社長 田中吉武
- 事業内容 : 特定労働者派遣業
機械設計、電子設計、ソフト開発の
技術サービスを提供するアウトソーシング事業
(技術者派遣、業務請負)
- 事業所 : 本社(横浜)、全国合計13拠点
- 資本金 : 3億7,377万5,000円
- 売上高 : 52億4,200万円(平成21年3月期)
- 経常利益 : 2億300万円(平成21年3月期)
- 従業員数 : 827人(平成21年3月31日現在)

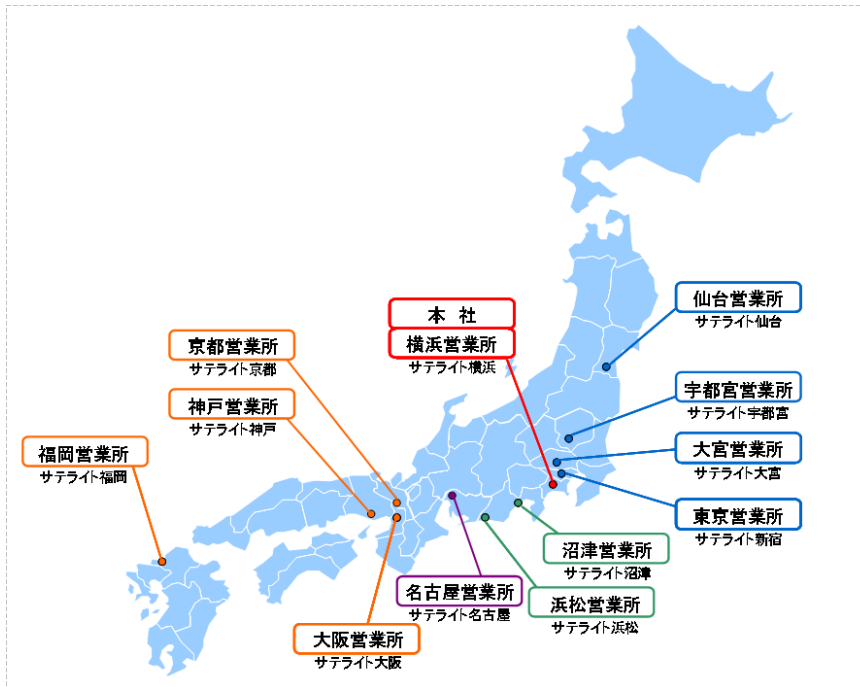
*すべて単体、当社は連結財務諸表を作成しておりません。

株式会社ヒップ

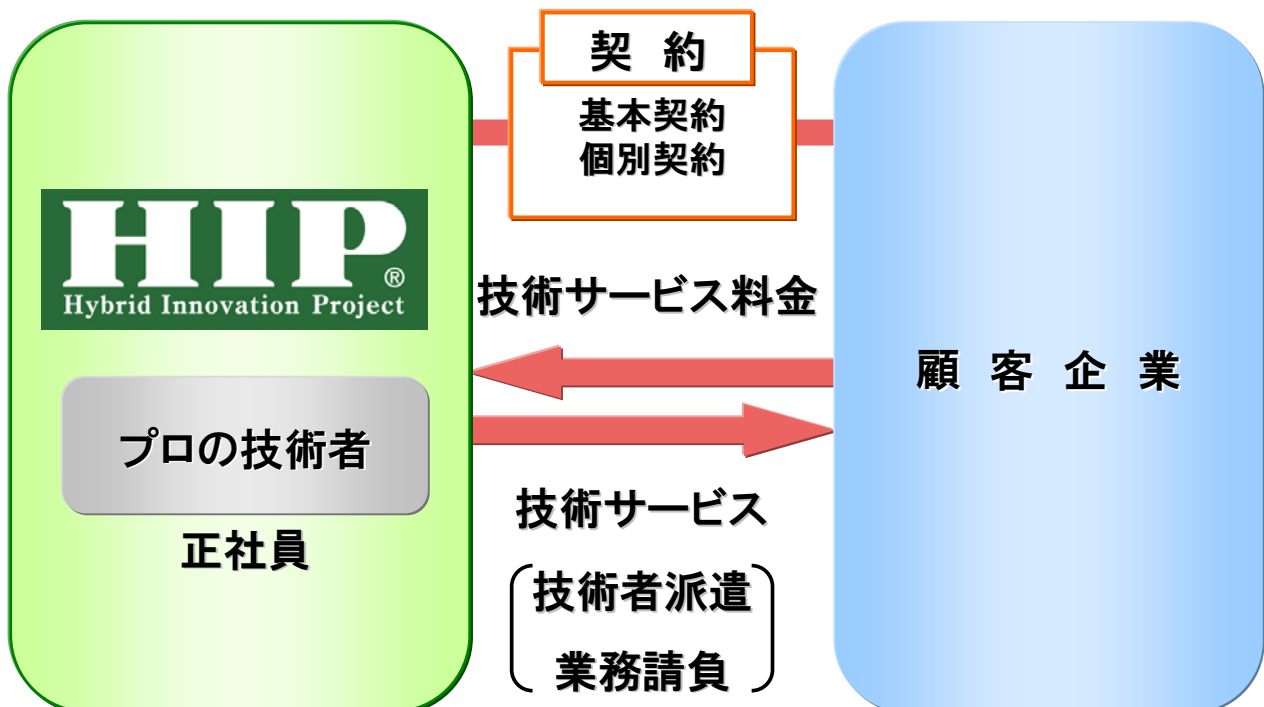
「企業の壁を乗り越え集まった技術者が改革する」



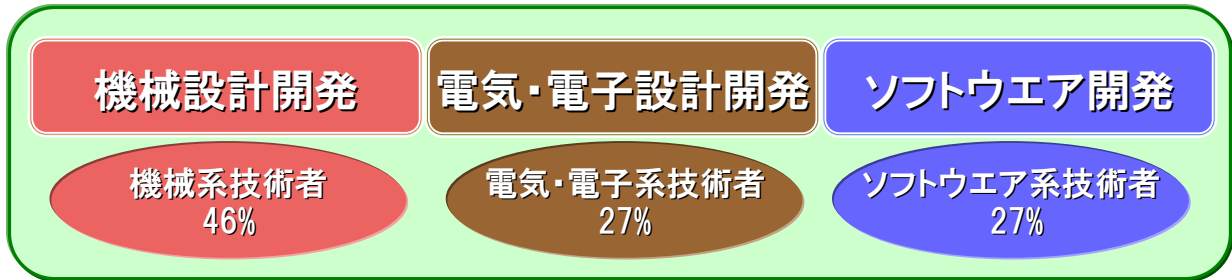
全国に展開する営業・採用拠点(13拠点)



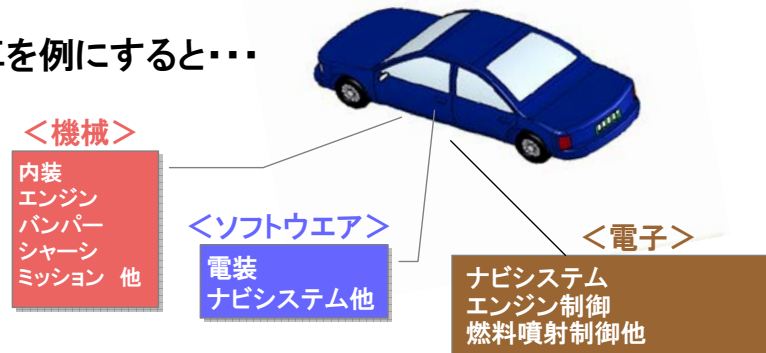
事業所	サテライト拠点
本社	サテライト横浜
神奈川事業部	
横浜営業所	
東部事業部	
仙台営業所	サテライト仙台
宇都宮営業所	サテライト宇都宮
大宮営業所	サテライト大宮
東京営業所	サテライト新宿
静岡事業部	
沼津営業所	サテライト沼津
浜松営業所	サテライト浜松
中部事業部	
名古屋営業所	サテライト名古屋
西部事業部	
京都営業所	サテライト京都
大阪営業所	サテライト大阪
神戸営業所	サテライト神戸
福岡営業所	サテライト福岡



■ 当社は、様々な開発・設計業務の分野において、次の3つの領域で多様な技術力を提供しております。

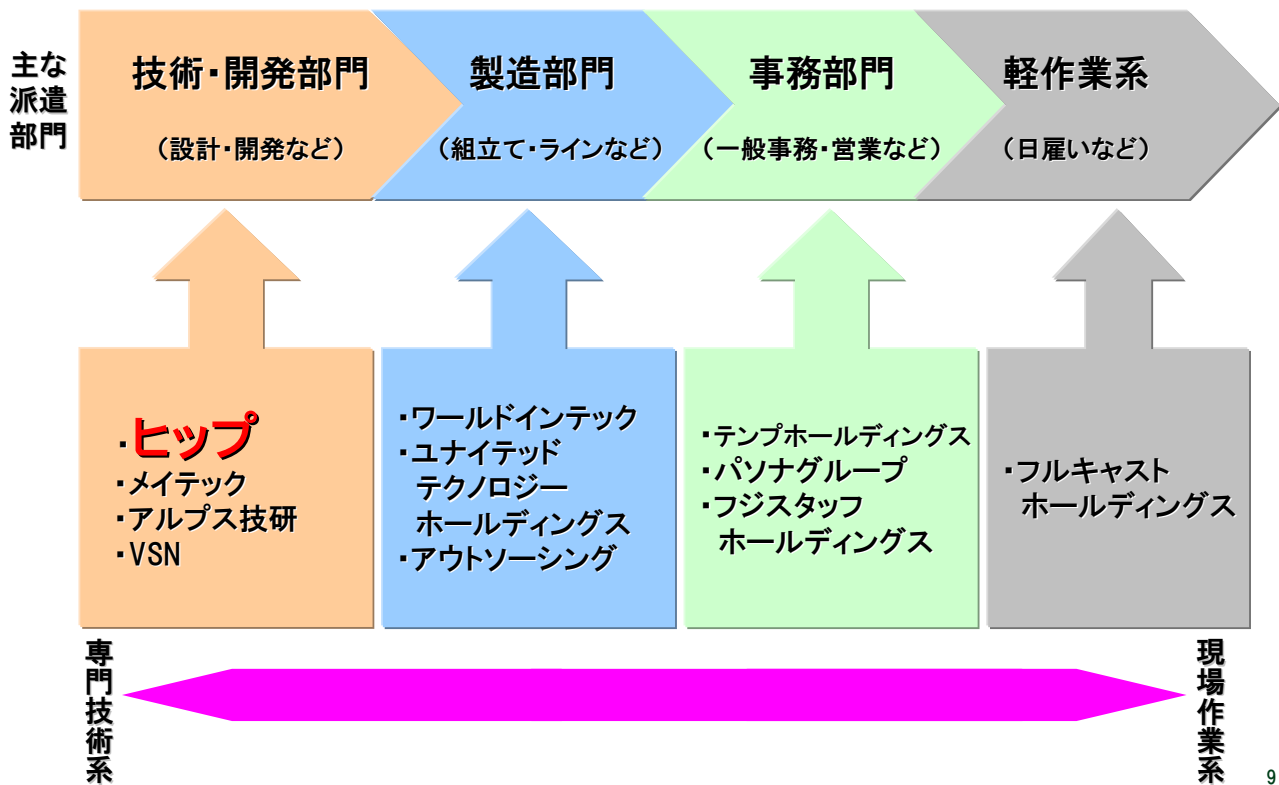


● 自動車を例にすると・・・



<労働者派遣の違い>

	一般労働者派遣事業	特定労働者派遣事業
派遣形態	登録型や臨時・日雇の労働者(非正社員)を派遣	常用雇用労働者(正社員)のみを派遣
特徴	短期雇用契約	期間を限定せず雇用
	社員の収入は契約期間に左右される	社員の安定した継続収入が確保される
	社員のスキルアップは個人の責任	社員のスキルアップが会社の重要施策
職種	あまり専門性が問われない職種が多い 例)製造業務や一般事務など	専門性の高い職種が多い 例)設計・開発系



生涯技術者®

1. 開発フェーズに特化

2. 技術料金について

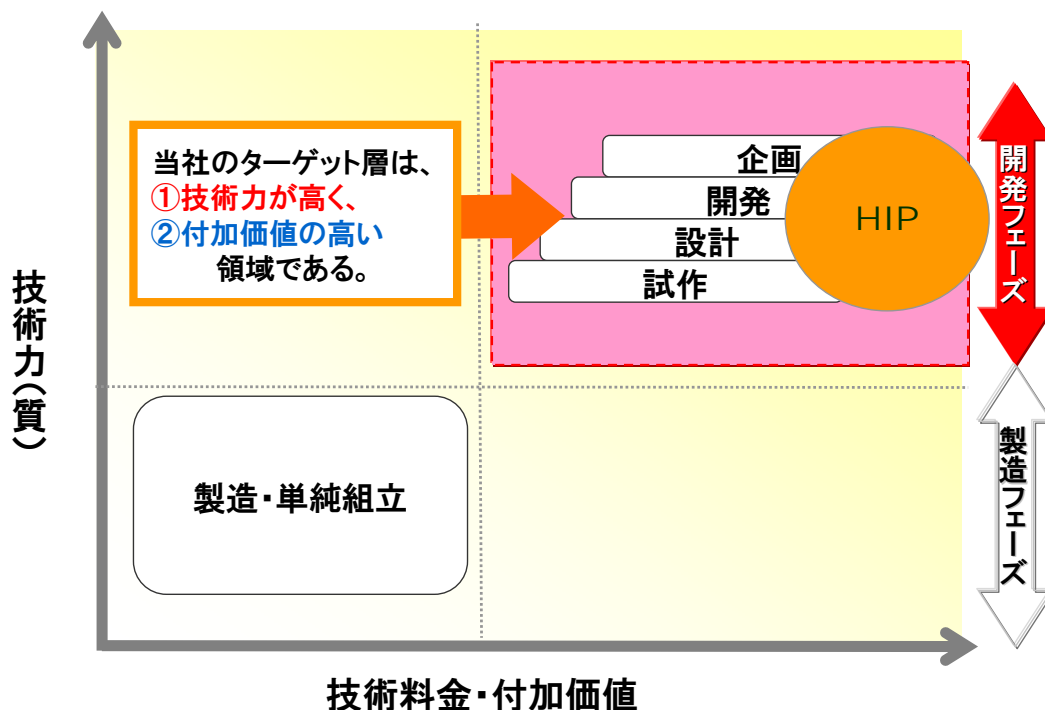
3. 優良顧客との取引

4. プロの技術者を育成

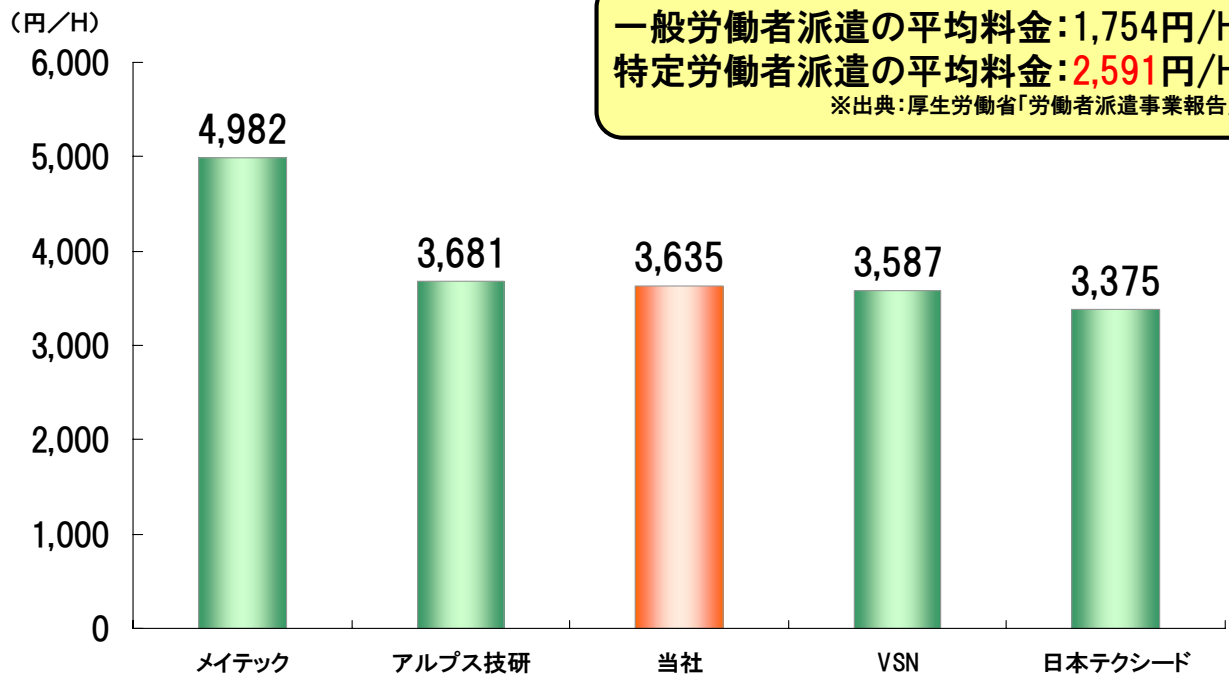
5. 技術者の心の支え（心の福利厚生®）

11

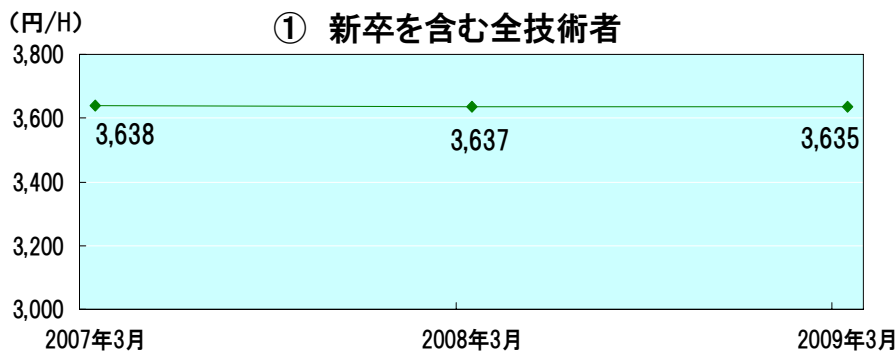
- 特定労働者派遣業界の中でも**開発フェーズに特化**したビジネスモデル



12

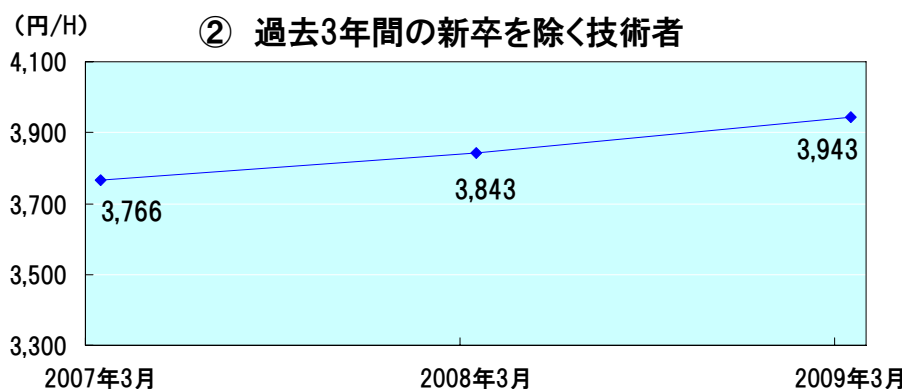


※ 2009年3月時点の技術料金が公表されている各社決算資料より抜粋



① 景気減速による価格の下落は起きておらず、例年並みの技術料金を維持。

② 新卒を除く技術者ではレートアップ(2.4%)の効果もある。



2010年3月期 動向

経済環境の悪化により、顧客企業のコスト削減意識から、料金抑制の動きが見られる。

■ 1部、2部上場企業を中心とした約200社の顧客企業と取引

事業区分	主要取引先企業	業界状況	社数	構成比
輸送用機器関連	・トヨタ自動車 ・日産自動車 ・いすゞ自動車 ・デンソーテクノなど	下半期の外部環境の急激な悪化による外需減少が響き減少傾向。	52	36.7%
電気電子機器・半導体回路関連	・パナソニック ・三洋電機 ・オムロン ・ソニーLSIデザインなど	携帯電話やパソコンの電池関連は伸びるものの、半導体回路関連が大幅に減少。デジタル家電も低調。	44	24.9%
情報通信・精密機器関連	・ソニー ・パイオニア ・キヤノン ・オリンパスなど	映像機、プリンター・複合機関連、光学系が好調だが、医療機器関連は低調。	41	23.3%
機械関連	・ウシオ電機 ・アルバック ・荏原製作所など	半導体製造装置が大幅に減少。事務用機器関連も低調。	36	9.2%
情報処理・ソフトウェア関連	・日立情報通信エンジニアリング ・NECシステムテクノロジー ・DTSなど	全体的にマイナス傾向。特に情報処理関連が大きくマイナス。	32	5.9%

※敬称略

※構成比、社数は2009年3月期 時点¹⁵

[2009年3月期]

	セグメント	売上 (百万円)	シェア(%)
1	デンソーテクノ	419	8.0
2	パナソニック	253	4.8
3	トヨタテクニカル ディベロップメント	207	3.9
4	ソニー	181	3.5
5	三洋電機	163	3.1
6	ブラザー工業	149	2.9
7	日産車体	147	2.8
8	オムロン	128	2.5
9	ルネサスデザイン	123	2.4
10	三菱電機 エンジニアリング	121	2.3
	上位10社合計	1,891	36.2%
	その他	3,351	63.8%
	合計	5,242	100.0%

上位10社の
売上合計

36.2%

その他

63.8%

- ①従来、景気の影響を受けにくい展開を実施。しかし昨年秋以降、全体的に世界景気の急減速の影響がでた。
→上位取引先への寡占化
- ②技術者にとって、仕事の選択肢が豊富
- ③将来性のある業界と取引・今後も展開

輸送用機器関連
 電気電子機器・半導体回路関連
 情報通信・精密機器関連

※敬称略

～テクノセンターでの研修内容～



17

教育体制

情報共有

経営参画



技術者との情報交換

- ・代表者への連絡会 (Rep-con)
- ・技術者連絡会 (E-con)
- ・社内報・経営報告会
- 豊富な社員交流イベント**
- 一泊研修会、地引網大会、バーベキュー大会
- フットサル大会、同好会活動
- 各拠点イベント
- 安心の独身寮**
- 藤沢寮、安城寮、三田寮、片倉寮

社員が経営に参画

- ・社員総代会
- ・社内ベンチャー制度
- ・社員持株制度

心の福利厚生®

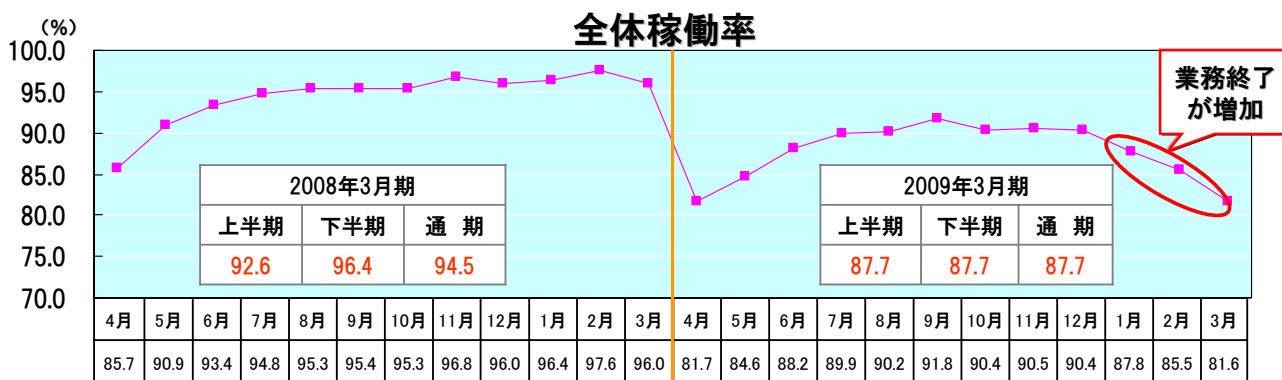
技術者が働きたいと思う環境づくり = 高いモチベーションの維持
帰属意識を醸成し、低い離職率を実現

18

(単位:百万円、%)	2008年3月期		2009年3月期		前年同期比	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
売上高	5,436	100.0	5,242	100.0	△193	△3.6
営業利益	447	8.2	207	4.0	△239	△53.6
経常利益	446	8.2	203	3.9	△242	△54.3
当期純利益	259	4.8	106	2.0	△153	△59.0

◆経済環境悪化を受け、減収減益

◆メーカーの業績悪化、先行き不透明さから業務終了が増え、稼働率が減少したことが主要因



※稼働率(%)=稼働技術者数/技術社員総数*100

19

2009年3月期 業務開始・終了人数

(単位:人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	通期計
業務開始	08年度	23	48	32	24	18	14	159	26	27	14	16	12	10	105	264
	09年度	35	44	38	26	12	17	172	18	18	9	11	6	5	67	239
業務終了	08年度	32	11	19	17	15	17	111	29	13	20	11	11	21	105	216
	09年度	61	23	13	15	13	6	131	31	20	12	41	31	47	182	313

経済環境

世界的な金融危機により、外需関連メーカーを中心に業績が非常に厳しい状況。

顧客状況

- ・メーカーは在庫調整や人員調整を行い、落ち着きを取り戻しつつある。
- ・下半期に向け業績回復から拡大へと収益を改善する過程で、メーカーの生命線である新製品開発や製品開発の効率化を行うため、技術系アウトソースの活用が見込まれる。

業界として

アウトソーシング企業にはコンプライアンスをはじめとする経営体質や優秀な技術者の確保及び営業力等の質的な差別化が今まで以上に求められ、企業間の競争が激化していく。

21

外部環境の悪化により稼働率・稼働時間が低下し、
下半期には回復してくるものの減収減益と予想。

(単位:百万円、%)	2009年3月期 (実績)		2010年3月期 通期予想		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比増減率
売上高	5,242	100.0%	4,057	100.0%	△22.6%
営業利益	207	4.0%	△39	—	—
経常利益	203	3.9%	△48	—	—
当期純利益	106	2.0%	94	2.3%	△11.0%

22

本社組織を機構改革し、本社部門と営業所との連携強化

営業体制の強化

- 顧客ニーズと技術者の的確なマッチングの推進
- 全国展開による顧客数の増加
- 技術面からみた取引業種の拡大

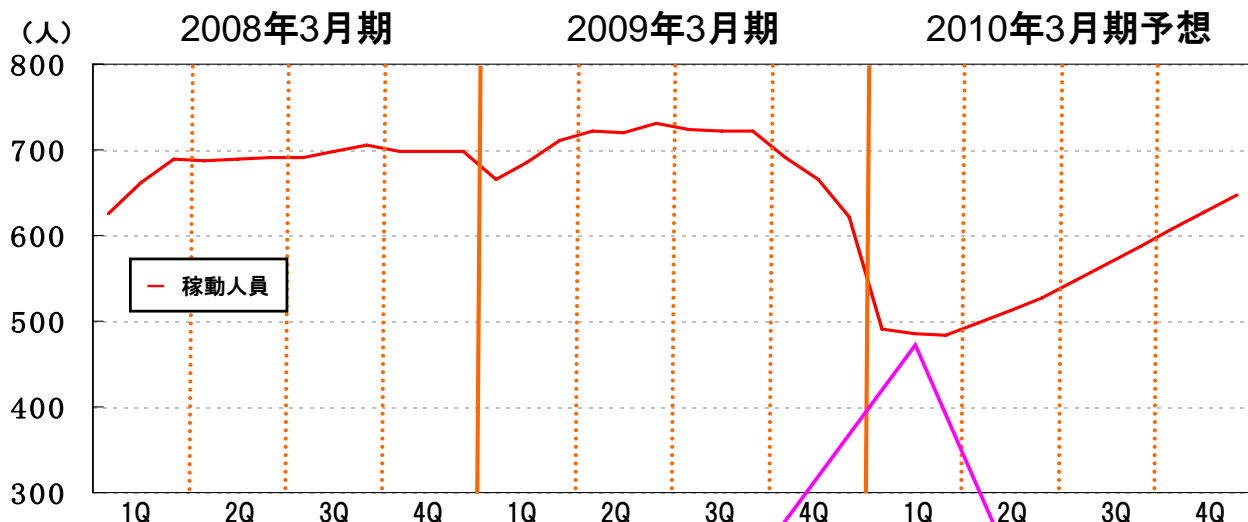
雇用の確保と教育の充実

- 雇用調整助成金〈休業補償・教育訓練〉の申請→年間約2億2千万円を予定

販売管理費の削減及び採用体制の見直し

- 採用体制の見直し→サテライト拠点の閉鎖(郡山、広島、熊本)
- 販売管理費の削減→拠点費用、採用費などの削減

23



第1四半期で契約終了者は底を打ち、
第2四半期から下期にかけて、稼動人員も回復してくると見込んでいる。

24

2009年3月期は140人の採用。2009年4月の新卒入社は64人。
2010年3月期は採用を抑制し、08、09年新卒を含む待機技術者の戦力化を優先。



顧客ニーズに対応した若手技術者の実践教育の強化。

早期戦力化を図るため、各分野において新たな教育カリキュラムを実施。
雇用調整助成金〈教育訓練〉の申請を行う。

機械設計



1. CADオペレーション (CATIA、I-DEAS、Pro-E等)
2. ・ワンタッチロック機構設計
・XYZ調整機構設計
初期設計、詳細設計、CADにてパーツ、アッセンブリモデリング、組立図、部品図作成、デザインレビュー

電気・電子設計



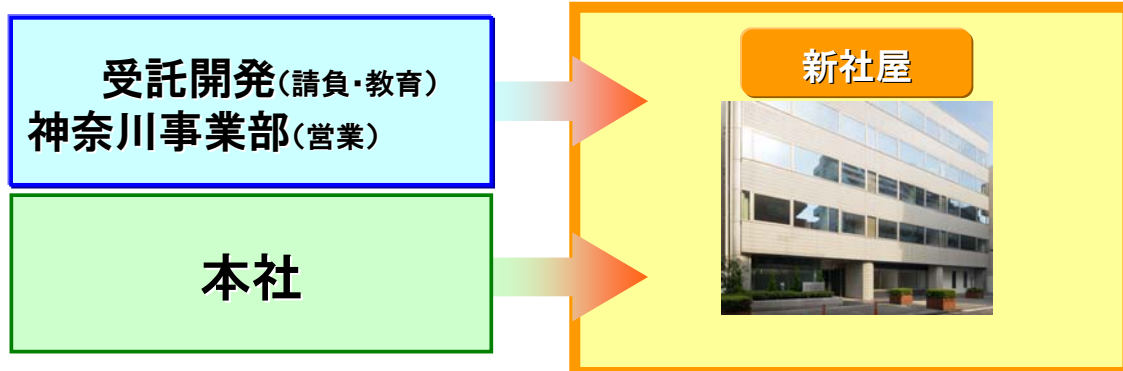
1. アナログ回路設計
反転増幅回路、計測増幅器などの設計製作
2. デジタル回路設計の習得
同期回路の基礎、電子サイクロ設計
ストップウォッチの設計
HDLデジタル回路設計

システム開発



1. 組込研修
ハードウェア研修、簡易回路の製作
回路の測定と波形観測
マイコンによる組込制御
2. アプリケーション研修
C++オブジェクト指向、UML、GUI

■今後の規模拡大へ向け新社屋へ移転(2008年10月)

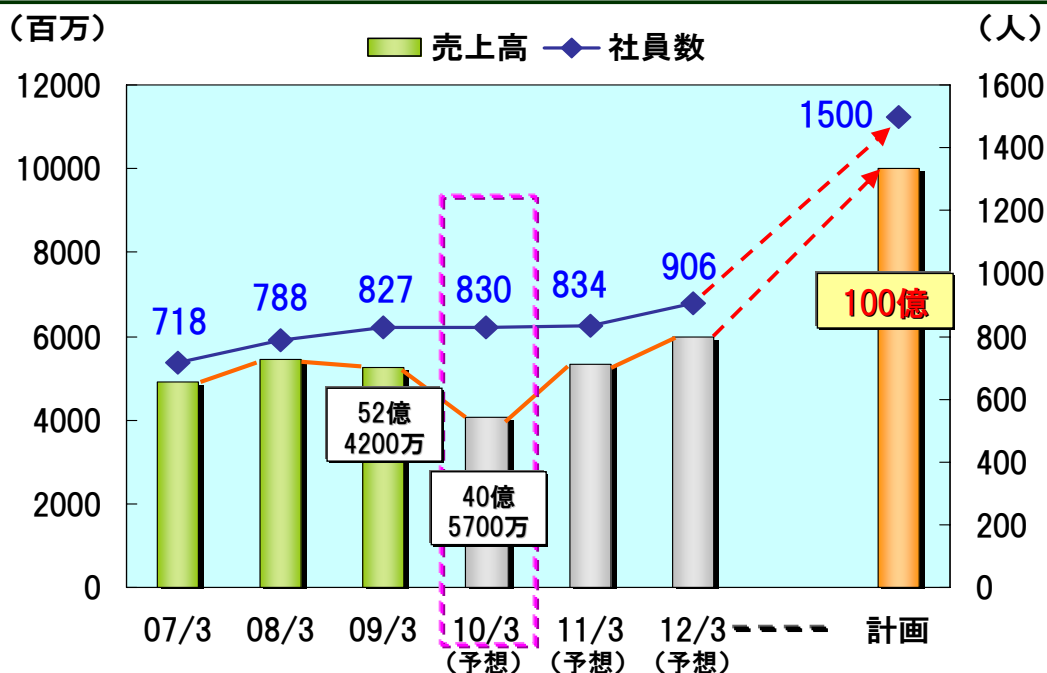


- ①本社・神奈川事業部・受託開発での賃貸料の節減
- ②教育スペースの自由度が高まる

経費節減効果 約2,000万円

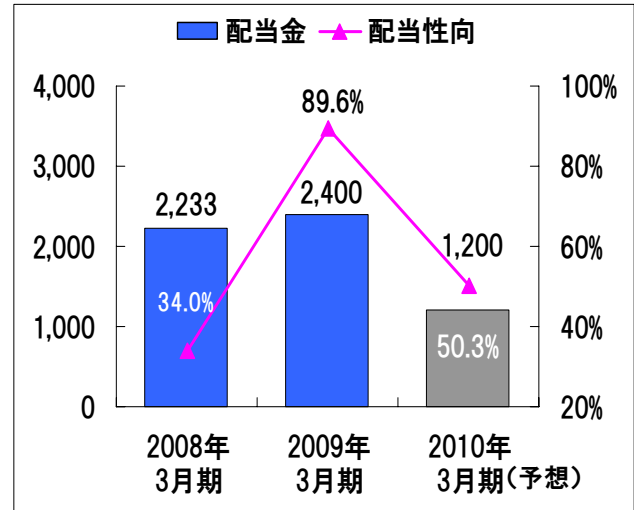
・地代家賃 Δ 約4,000万円
 ・固定資産税450万
 ・減価償却費1,080万
 ・その他 $+$ 約2,000万円

■堅実な経営を進めることで着実に成長し、
売上高100億円・技術者1500名体制の実現を目指す。



当社は堅実な経営を進めていくと共に、適正な利益還元を実施すべく、株主の皆様へ業績を勘案し安定した配当を継続していきます。

(単位:円)	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期 (予想)
配当金	2,233円	2,400円	1,200円
配当性向	34.2%	89.6%	50.3%



※当社は2008年4月1日付けにて株式分割(1:3)を行っております。
上記では当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ヒップ

IR担当

〒220-0003 横浜市西区楠町8-8

TEL: 045-328-1000

FAX: 045-328-1001

E-mail: ir@hip-pro.co.jp

URL: <http://www.hip-pro.co.jp>

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2009年7月10日現在のデータ等に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または、約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。